

# SEMINAR HOUSE NEWS

## セミナーハウス・ニュース

No.171  
2006年11月発行

巻頭言「理事長就任にあたって」 .....	佐藤東洋士	2
法人ニュース .....		3
常務理事会・理事会・評議員会開催の報告		
千人会通信 .....		4
ご利用状況 .....		5
開催セミナー .....		6
サイトレポート		
主催セミナー報告 .....		7
開催セミナー予定 .....		8
館長室から		



Plain living and high thinking

財団法人 大学セミナーハウス  
INTER-UNIVERSITY SEMINAR HOUSE  
〒192-0372 東京都八王子市下柚木1987-1  
TEL : 042-676-8511 FAX : 042-676-1220  
<http://www.seminarhouse.or.jp>

## 理事長就任にあたって



理事長  
佐藤 東洋士

本年6月より、中嶋嶺雄先生の後任として財団法人大学セミナーハウスの理事長に就任致しました。この重責をお受けするにあたり、これまでの輝かしい歴史と伝統を引き継ぎつつ、新しい時代に向けていったい何をなしていくべきかと、身の引き締まる思いで一杯です。

今、時代はまさに歴史上の大きな転換期を迎えています。グローバル化、IT革新が猛烈な速度で進行する中で、一方、少子高齢化、地球環境が同時並行的に深刻な問題として進んでいます。特に我が国は、戦後の輝かしい経済の成長や成功を帳消しにし、その余韻すら霧散しかねないほどの未曾有の困難に直面しています。私たちはこれまで、経済・社会の発展の原動力として、ともしれば物質面での豊かさを追い求めてきました。しかしそこには限界があったからこそ、これからの時代は、厳しい競争社会の中にあっても人間性の価値が創造できる「心の豊かさ」を築き上げていかなくてはならないと感じています。

人はどのような困難に直面しても未来に希望を持

つには、それまでの枠組を超えて、新しい価値観や考え方と出会い、自身の人間としての幅を広げる必要があります。また「心の豊かさ」を持つには、単に自分が学ぶだけでなく、時には知恵を出し、これまでの経験を分かち合う、そういった協働の和を広げることが大切です。その中から新しい可能性や明日への光が見えてくるのではないのでしょうか。

一人ひとりが、個性を発揮し、多様性を認め合い、自己実現ができる社会。そして新しい未来が創造できる社会を実現させる為には、一個人、一大学といった枠組みを越えて、心の通わせることのできる大学セミナーハウスの役割は大変大きく、意義深いと感じています。

大学セミナーハウスは、「集う人々が、煩わしい喧騒と慌しい日々から離れ、しばしの時、自然の囁きに耳を傾け心とむ中で、己を見つめ、明日を逞しく歩む活力を、そして新たな出会いと発見の場を提供する」ことを使命として1962年に設立致しました。まさしく今の時代にあって、私たちは協力会員校、準協力会員校をはじめ大学等の機関に広く利用していただける場をご提供していかなくてはならないと感じています。

これからも集われるお一人おひとりの人格を尊重し、その個性を伸ばしながら、多様な価値観を育み発展させる場として、そして新しい時代を担っていく人材を育てる場として、時代にかなった施設を整備し、一層活発に事業を展開して参る所存です。

これからも皆様のご理解と大学セミナーハウスに対する積極的な運営参加を宜しくお願い申し上げます。

### さくら館開館記念は盛會に

さくら館開館記念の集いは、去る5月8日(月)に開催しました。午後2時のテープカットに始まり、第1部記念式典では中嶋理事長の挨拶、感謝状贈呈に続き文部科学省から留学生交流室長の池田輝司様・設立発起人校代表として日本女子大学後藤祥子学長よりご祝辞を頂戴しました。第2部記念講演は、国際基督教大学教授村上陽一郎先生に「なぜいま教養教育なのか」というテーマで講演をいただきました。第3部では祝賀演奏としてバイオリンとピアノの素晴らしい演奏の後、八王子商工会議所専務理事河合和郎様・千人会代表として東京都立短期大学名誉教授吉田幸弘先生よりご祝辞を頂き、鏡開きにつき懇談の時を持ちました。当日は100名を越すみなさまにおいで頂き、盛會に催すことができました。



第112回理事会・第91回評議員会  
2006年5月26日 猫 如水会館

〔理事会〕 出席者7名・書面による出席者14名 計21名  
〔評議員会〕 出席者5名・書面による出席者42名 計47名  
次期の理事・監事及び評議員の選任が行われた。また、2005年度事業報告・決算について審議され、承認された。主な報告・協議の内容は以下のとおりである。

業務報告 利用・予約状況、主催セミナー事業 新棟「さくら館」開館記念の集い、ユニットハウス解体、等について報告された。

評議員63名の就任が承認された。  
理事22名及び監事2名が選任された。  
理事長佐藤東洋士、館長荻上統一、専務理事堂 信一が予選され、6月1日をもって選任されることが承認された。  
東京工科専門学校(芦田宏直校長東京都中野区中野6-21-16)の準会員校加入を承認した。

2005年度事業報告書について 利用状況は延24,480人であり、前年度に比べ1,906人減である。主催セミナーは7回開催され、参加者延人数は586人であった。施設整備は日本財団の補助を受け、交友館の改修を行ったことなど、事業報告書について説明があり、審議の結果、承認された。

2005年度一般会計決算・特別会計(記念募金)決算について 新棟建設に伴う借入金により予算規模が増えた 建設関係費を除く事業費全体では、利用者数の減少にも拘らず、収支の均衡が図られている 特別会計は、記念事業が終了したので残額10,580千円を一般会計に組み入れたこと等、決算書(6P別表参照)の説明と審議がされ、承認された。

第113回理事会  
2006年7月1日 狸 大学セミナーハウス

出席者9名・書面による出席者11名 計20名  
執行役員の書面による承認の結果の報告及び常務理事の選任が行われた。主な報告・協議内容は以下のとおり。

5月26日の理事会で予選された理事長候補者、館長候補者、及び専務理事候補者について、新理事全員に対して書面表決を行った結果、5月31日までに全員の賛成により、佐藤東洋士理事長、荻上統一館長、堂 信一専務理事が選任された旨の報告があった。(任期は2006年6月1日から2008年3月31日まで)

理事の追加選任の経緯について説明があり、6月14日三宅評議員会議長名で新評議員による書面表決を行った結果、6月30日までに鈴木康司氏が全評議員63名の半数を超える48名の賛成により理事に選任された旨の報告があった。(任期は2006年6月1日から2008年5月31日まで)

業務報告 利用状況及び主催セミナー事業について説明・報告があった。業務の新体制について館長より説明があった。

理事長から常務理事の選任について提案があり、次のとおり選任された。奥島孝康、後藤祥子、佐藤 保、鈴木典比古、鈴木康司、程島俊介、鷲山恭彦 (敬称略・50音順)

常務理事の業務分担について、理事長より提案があり、次のとおり了承した。

- (業務分担)(担当理事)  
総括(運営全般) 奥島孝康  
財務 鈴木典比古  
事業計画 鈴木康司  
セミナー 後藤祥子  
" 佐藤 保  
" 鷲山恭彦  
" 程島俊介

理事長よりから中嶋前理事長を顧問に委嘱したい旨の提案があり、全会一致で承認された。

2006年度第1回常務理事会  
2006年5月26日 猫 如水会館

〔出席者〕 中嶋理事長はじめ常務理事7名  
【主な議題】 2005年度事業報告・決算について、次期の評議員及び役員選任について、他。

2006年度第2回常務理事会  
2006年9月29日 猫 桜美林大学新宿キャンパス

〔出席者〕 佐藤理事長はじめ常務理事10名  
(理事以外の出席者) 小畑監事、三宅評議員会議長  
【主な議題】 将来計画について、遠来荘の今後の扱いについて、利用促進活動について、常務理事の担当業務について、幹事会の設置について、他。

佐藤東洋士氏が理事長に就任

2006年5月26日の理事会・評議員会で新役員評議員が選任され新執行体制が発足した。(任期は2006年6月1日より2008年5月31日まで)

理事長	佐藤東洋士	桜美林大学学長・理事長
館長	荻上統一	東京都立大学元総長
専務理事	堂 信一	(財)大学セミナーハウス
常務理事	奥島孝康	早稲田大学大学院法務研究科教授
"	後藤祥子	日本女子大学学長・理事長
"	佐藤 保	二松学舎理事長
"	鈴木典比古	国際基督教大学学長
"	鈴木康司	中央大学元学長( )
"	程島俊介	学術・文化・産業ネットワーク多摩常務理事
"	鷲山恭彦	東京学芸大学学長
理事	相澤益男	東京工業大学学長
"	安西祐一郎	慶応義塾大学塾長
"	大橋英五	立教大学総長
"	北原保雄	日本学生支援機構理事長
"	黒須隆一	八王子市市長
"	小宮山宏	東京大学総長
"	白井克彦	早稲田大学総長
"	永井和之	中央大学総長
"	平林千牧	法政大学総長・理事長
"	光田正明	桜美林大学孔子学院学長
"	村上光一	(株)フジテレビジョン代表取締役社長
"	村上陽一郎	国際基督教大学大学院教授
"	山本真一	広島大学高等教育研究開発センター教授
監事	沖永佳史	帝京大学理事長・学長
"	小畑秀文	東京農工大学学長
顧問	天城 勲	I D E 大学協会顧問
"	小和田恒	国際司法裁判所裁判官
"	佐野博敏	大妻女子大学学長・理事長
"	中川秀恭	大妻学院顧問
"	中嶋嶺雄	国際教養大学学長・理事長( )
評議員	学識経験者(9名)	
"	石川和昭	八王子市教育委員会教育長
"	宇野重昭	島根県立大学学長
"	勝又美智雄	国際教養大学教授
"	篠田節子	作家
"	中兼和津次	青山学院大学教授
"	福田一郎	東京女子大学名誉教授
"	三宅 彰	国際基督教大学名誉教授
"	村田雄二郎	東京大学大学院総合文化研究科教授
"	渡邊啓貴	東京外国語大学教授
評議員	会員校代表(52名)	
"	相澤益男	東京工業大学学長
"	相模秀夫	東京工科大学学長
"	飽戸 弘	東洋英和女学院大学学長
"	安西祐一郎	慶応義塾大学塾長
"	飯田嘉宏	横浜国立大学学長
"	池田練太郎	駒澤大学学長
"	池端雪浦	東京外国語大学学長
"	石澤良昭	上智大学学長

"	岩崎洋一	筑波大学学長
"	氏原淳一	明星大学学長
"	大澤貴寿	東京農業大学学長
"	大橋英五	立教大学総長
"	小川秀興	順天堂大学学長
"	加藤 寛	千葉商科大学学長
"	木村利人	恵泉女学園大学学長
"	栗田恵輔	成蹊大学学長
"	古在豊樹	千葉大学学長
"	小嶋勝衛	日本大学総長
"	小林信行	東京工芸大学学長
"	小宮山宏	東京大学総長
"	郷 通子	お茶の水女子大学学長
"	後藤祥子	日本女子大学学長
"	佐野博敏	大妻女子大学学長
"	白井克彦	早稲田大学総長
"	鈴木章夫	東京医科歯科大学学長
"	鈴木典比古	国際基督教大学学長
"	鈴木了二	早稲田大学芸術学校校長
"	竹内 伸	東京理科大学学長
"	田隅三生	埼玉大学学長
"	立石雅夫	女子美術大学学長
"	中嶋嶺雄	国際教養大学学長
"	中村経紀	ヤマザキ動物看護短期大学学長
"	中村英夫	武蔵工業大学学長
"	永井和之	中央大学学長
"	永田良昭	学習院大学学長
"	納谷廣美	明治大学学長
"	西澤潤一	首都大学東京学長
"	原島文雄	東京電機大学学長
"	平田 賢	芝浦工業大学学長
"	平林和幸	武蔵大学学長
"	平林千牧	法政大学総長
"	益田隆司	電気通信大学学長
"	松尾友矩	東洋大学学長
"	三浦宏文	工学院大学学長
"	水谷惟恭	東京工業高等専門学校校長
"	湊 晶子	東京女子大学学長
"	無藤 隆	白梅学園短期大学学長
"	武藤元昭	青山学院大学学長
"	村上勝彦	東京経済大学学長
"	山縣喜代	聖心女子大学学長
"	若江正三	創価大学学長
"	鷲山恭彦	東京学芸大学学長
評議員	財界関係者(2名)	
"	櫻崎彰男	八王子市商工会議所会頭
"	渡里杉一郎	(株)東芝特別顧問

( は新任、 は6月30日選任、 は7月1日選任)

## 会費をありがとうございました。

(2006年4月～9月敬称略)

柳堀素雅子、佐藤公孝、佐藤慶幸、松澤通生、藤井弥太郎、江淵浩美、有賀 弘、檜田信男、関口富左、松田安弘、海老根 宏、小原孝一郎、林 肇、川村龍俊、伊倉退蔵、竹前文夫、下森 定、水野弘文、滝口俊子、麻生 幸、加藤秀俊、加藤晴久、金子六郎、澤島侑子、瀬戸岡 紘、児玉昭太郎、後藤捨男、岡田英和、狩野紀昭、大塚 博、水谷眞智子、北原和夫、本明 寛、内田市五郎、平野文彦、奥山典生、芳賀 徹、長谷川幸男、鈴木俊和、荒井 献、奥島孝康、福島 明、椿 弘次、西澤宗英、荒井 基、荒川有史、鳥海保子、宮川 彰、今堀和友、林 卓男、朝野洋一、安宅光雄、徳末愛子、本江哲郎、竹内喜代司、中村幸安、大内 力、吉田幸弘、金子 晃、臼井久和、石川信男、松尾浩也、中野スミ子、黒田道雄、三橋文雄、長田洋子、川添利幸、長岩 寛、山西 貞、塩谷惇子、入江和生、大村晴雄、小倉充夫、古本捷治、松島 恵、築田長世、田島恵児、川原啓美、橋本 智、金谷 憲、有末 賢、吉田美穂子、綿引二郎、藤原鎮男、小池 滋、三宅 彰、慶谷伸代、高橋公雄、鈴木成文、中山光雄、柴田 誠、伊藤意智郎、太幡祐己、瀬田裕司、仙田 哲、加藤幹夫、松尾秀雄、原島幸太郎、新井勝紘、山田耕司、栗原 裕、武者利光、中山勝博、志賀 英、松瀬貢規、米村貞蔵、大蔵隆雄、小沢重男、大瀧裕子、佐藤東洋士、荒川由美子、鈴木一道、山本武彦、中嶋嶺雄、萩原洋太郎、西澤宗英、稲田 拓、村田光二、岡村文子、八幡義博、宮野三郎、柳下綱道、福島正久、大口勇次郎、野崎昭弘、田中弥寿雄、小山宙丸、國岡昭夫、海老沢克之、宮本瑞夫、沖塩莊一郎、朽津耕三、麓 信義、小堀桂一郎、藤田淑子、大須賀節雄、林 勲、小川信子、小池生夫、村瀬 旻、東 壽太郎、久場嬉子、楯 吉彦、関本昌秀、村上陽一郎、関口利男、高村多賀子、桐原五十鈴、奥田眞丈

## 会員からのメッセージ

2月下旬に国立音楽大学イリス合唱団と合宿で利用させて頂きました。この3月で退職です。 佐藤公孝  
今後、できましたら電子メールによるニュース発信が実現できると便利かと思えます。 松田安弘  
4月21日無事、85歳の誕生日を迎えることができました。セミナーハウスのいよいよのご発展を祈念しております。(横浜国立大学名誉教授) 伊倉退蔵  
留学生会館のオープン、新築の宿泊施設のオープンと次々に完成され、お喜び申し上げます。益々の御発展を祈っています。 下森 定  
おかげさまで無事77歳を迎えました。喜寿を記念して、今年はお金を少し増額して御送りします。 澤島侑子  
体は至って健康で、元気に消光しておりますが、頭は年相応してボケてきました。吾もまたノ五月の貴公子ノ由木の丘。 児玉昭太郎  
1970年から35年間利用させて頂きました。多分200回近くの利用になるのではと思います。多くのゼミ生が素晴らしい思い出を作ることができました。有難うございます。 狩野紀昭  
会社生活を引退しまして2年が経ちました。生活は大幅に変わりましたが、ようやく新たな生活にも慣れつつあります。セミナーハウスの発展をお祈りしつつ会費を送らせて戴きます。 大塚 博  
毎年美しい誕生日カード、また、大学セミナーハウスのご発展のご様子を知り得、うれしく存じます。ますます

のご清栄をお祈り申し上げます。 荒井 基  
7月、8月と文教研の合宿でお世話になります。荒川有史毎年ゼミ合宿で利用させていただき、感謝申し上げます。近年のセミナーハウスからの眺めでは多摩ニュータウン地域の高層マンションの林立の変貌に驚いています。

宮川 彰  
さくら館のきれいなカードを有難うございました。私もとうとう昨秋金婚式を、そして今回お寿を迎え、いよいよ老況ですが、どうにか元気に暮らしています。

吉田幸弘  
誕生日の御祝詞、有難うございました。78歳になりました。 松尾浩也  
ありがとうございます。車イス生活はなれましたが、かなりかたくなになっています。岡館長と「セミナーハウスもオリセン(オリンピック記念青少年総合センター)も他者への想像力の回路を開くチャンスにしたい」などとお話したことなど思いかえします。役に立たない会員ですみませんが、今年もカードに感謝です。中野スミ子誕生日レター有難うございました。健康で淡々とした心情で92歳を迎えることが出来たことに感謝して千人会費を送らせて戴きます。セミナーハウスの益々の充実とご発展をお祈り致します。

三橋文雄  
誕生日カード有難うございます。些少ですが、会費をお送りさせていただきます。 松島 恵  
大学セミナーハウスの一層の御発展のために、モラル、サポートを続けさせて頂くことができることを有り難く存じております。

田島恵児  
御発展をお祈り申し上げます。 慶谷伸代  
相変わらず世界では戦争が続いていますが、61年もの平和の歴史を日本は大事にしていかなければと痛感しています。

新井勝紘  
さくら館の完成、嬉しいニュースでした。一層の発展を期待しています。 栗原 裕  
会報でご発展の様子は伺っています。私も高齢になりそちらには行けませんが、本を書く時度か車に資料を積んで行った昔を思い出します。益々のご発展を祈っています。

志賀 英  
誕生日カード、有難うございました。お陰様で元気に喜寿を迎えることができました。

米村貞蔵  
誕生日祝レター有難うございました。今月に85歳を迎え、千人会の益々の充実セミナーハウスのご発展をお祈り申し上げます。

柳下綱道  
2006年3月末をもって創価大を退職しました。 福島正久  
大学共同セミナーでは良き教師、学友とともに書物にも出会いました。40年を経た今ようやく熟読含味しております。

海老沢克之  
SPAINから戻りました(9月10日)ので振り込ませていただきます。遅くなりました。

藤田淑子  
さくら館のオープンおめでとございます。今年で喜寿を迎えることになりました。相変わらず元気にしています。上代先生、飯田先生の凜とされた姿と共に、大学セミナーハウス開設当時の頃を思い出します。 小川信子  
今年も無事誕生日を迎えることが出来ました。感謝をもって10年分送金させていただきます。

高村多賀子  
初めてセミナーハウスを訪ねてから、28年が過ぎました。今春より長男が中央大学に通っています。塩山市、勝沼町、大和村が合併致しまして、昨年11月より甲州市となりました。

桐原五十鈴



2006年4月～9月  
 \* = 同月2回利用  
 \*\* = 同月3回以上利用  
 日帰りはグループ数のみ(延べ人数には日帰りの利用者は含まず)  
 = 新生入りエンタメショー

4月(53グループ、延3,338人)  
 東京工業高等専門学校電子工学科  
 埼玉大学教授 福岡安則  
 東京学芸大学明治文学ゼミ  
 国際基督教大学和太鼓部  
 東京都立大学・首都大学東京教育学  
 明治大学教授 森 久  
 東京学芸大学生活科学  
 首都大学東京都市教養学部  
 東京大学教養学部学生自治会  
 中央大学心理学研究室  
 中央大学独立学専攻  
 お茶の水女子大学理学部生活科学部  
 東京工科大学専門学科中野校\*  
 首都大学東京物理学コース  
 首都大学東京機械工学コース  
 お茶の水女子大学グローバル文化学環  
 日本工科大学アメリカンフットボール  
 東京農工大学環境資源科学科  
 中央大学文学部教育学専攻  
 慶應義塾大学模擬国連  
 東洋大学社会文化システム学科  
 東京経済大学ヘーゼル  
 中央大学社会科学センター  
 白梅学園短期大学保育科  
 法政大学多摩事務部学生生活課  
 新潟県鳳鳴中学校サッカー部  
 TFCジュニア  
 GET(一橋大学公認国際学生企画運営プロジェクト)  
 聖路加看護大学  
 横浜創英短期大学  
 学校法人河合塾国際教育事業部  
 DOCOMOMO JAPAN  
 千葉県夷隅町立大原中学校  
 浜松開誠館中学校バスケットボール部  
 都留文科大学教授 河村茂雄  
 駒沢女子大学基礎ゼミ  
 杏林大学教授 熊谷文枝  
 関西創価高等学校  
 アスジャ・インターナショナル事務局  
 (株)夢ハウジング  
 (株)魚力人事教育部  
 興学社学園  
 (株)ジャパンプリントシステムズ  
 (株)スリーポンド\*  
 協栄産業(株)  
 カテナ(株)\*  
 コーロアングンテ  
 自費出版ネットワーク  
 心の森  
 個人利用  
 国際基督教大学教授 田中和中子  
 高知工科大学教授 伴美喜子  
 日帰り利用  
 帝京科学大学教授 別府敬夫  
 「四季の植物誌 親子で学ぶ自然観察」  
 5月(61グループ、延3,058人)  
 東京都立大学がブディラン研究会  
 中央大学白門会  
 東京電気大学教授 今川憲英  
 日本大学教授 三井 泉  
 青山学院大学教授 稲積宏誠  
 学習院大学シェイクスピアドラマソサエティ  
 慶応義塾  
 首都大学東京教授 三上岳彦  
 東京農工大学有機材料化学科  
 中央大学E.S.S  
 早稲田大学教授 毛里和中子  
 武蔵工業大学教職課程  
 創価大学ロシア語専攻  
 東京学芸大学人間福祉課程総合社会システム専攻  
 早稲田大学教授 河西宏祐  
 中央大学がビュラーソング研究会  
 明星大学講師 渡邊幸夫  
 帝京大学教授 郷 健治  
 東京学芸大学表現コミュニケーション専攻  
 明星大学環境システム学科  
 立教大学教授 上田 信  
 東京経済大学21世紀教養プログラム  
 東京学芸大学書道サークル  
 東京学芸大学日本研究  
 青山学院大学助教授 井川 肇  
 中央大学商法研究会  
 八王子高等学校吹奏楽部  
 静岡県立大井川高等学校野球部  
 NTC  
 日本ショーベンハウアー協会  
 三重県鈴鹿市立千代崎中学校  
 福島県郡山市立第七中学校女子バスケットボール部  
 杏林大学教授 千葉 洋  
 一橋大学教授 神武庸四郎  
 十大学合同セミナー  
 一橋大学淡成書道会  
 第2回E.S.R入門セミナー  
 多摩経済研究会  
 救世軍東京東海道連隊  
 哲学研究会  
 TMI  
 受験生  
 久遠キリスト教会  
 カルパリチャベルジャンカンファレンス

(有)フォトボルトック  
 (株)スリーポンド\*  
 大東建託(株)\*\*  
 横河電機(株)  
 (株)興学社  
 (株)ノジマ  
 カテナ(株)\*  
 エコ・ネットワーク八王子  
 ニューセンチュリー室内音楽楽団  
 ツリマスタートライミングアカデミー  
 山水グループ  
 アーバンリゾート昭和の森(株)  
 NPO法人アカ  
 フェイスフィルハーモニー管弦楽団  
 日本分光(株)  
 個人利用  
 (株)NCN  
 日帰り利用  
 帝京科学大学教授 別府敬夫  
 6月(33グループ、延1,592人)  
 明星大学助教授 小貫 悟  
 青山学院大学物理数理学科  
 東京学芸大学国際教育専攻  
 立教大学教授 郭 洋香  
 早稲田大学教授 小林敦子  
 早稲田大学芸術学校  
 法政大学教授 陣内 秀彬  
 明治大学教授 栗原 亮  
 中央大学国際関係研究会  
 千葉大学建築学  
 法政大学教授 小椋征立  
 明治大学教授 スザンシェアマン  
 立教大学佐々木・李・浪岡合同ゼミ  
 明星大学教授 星山麻木  
 田中拓男  
 第27回日豪合同セミナー  
 実践女子大学生生活文化学科  
 神奈川県立横浜翠嵐高等学校  
 G Sデザインユース  
 多摩美術大学  
 第7回「世界とアメリカ」セミナー  
 個人寺こどもクラブ  
 日本女子大学附属高等学校  
 第34期十大学合同セミナー  
 智辯学園高等学校硬式野球部  
 カテナ(株)\*\*  
 山水グループ\*  
 (株)日本山岳協会  
 (株)オザム  
 個人利用  
 東京農工大学助手 江木啓訓  
 日帰り利用  
 青山学院大学フリーバード  
 河西工業(株)\*\*  
 7月(68グループ、延1,920人)  
 ヤマザキ動物看護短期大学  
 立教大学教授 山口和範  
 立教大学教授 日向野幹也  
 堀越英嗣  
 芝浦工業大学教授 森 泰親  
 早稲田大学教授 鈴木雅久  
 河西宏祐  
 首都大学東京システムデザイン  
 日本大学講師 佐幸信介  
 駒澤大学教授 関井徹雄  
 向後英紀  
 丹羽 泉  
 田中 靖  
 国際基督教大学高等臨床心理学研究所  
 早稲田大学教授 喜多明人  
 東洋英和女学院大学助手 篠原進彦  
 馬場康彦  
 鬼頭 宏  
 上智大学教授 深澤 清  
 早稲田大学風会東京  
 東京学芸大学英語教室  
 明星大学助教授 中央大学通信教育部  
 明星大学通信教育部  
 創価大学教授 小林孝次  
 情報処理学会ナチュラコンピュティンググループ  
 十大学合同セミナー  
 江戸川区立二之江中学校  
 東京都立八王子工業高等学校定時制  
 津田塾大学教授 村上 健  
 第15回大学職員セミナー  
 産業技術高等専門学校  
 千葉県坪井中学校  
 三重県千代崎中学校  
 加茂中学校  
 めじろ台ファイターズ  
 木更津工業高等専門学校  
 Post EBM Seminar Club  
 東京海洋大学助教授 遠藤英明  
 藤田和也  
 一橋大学教授  
 東京都立成瀬高等学校茶道部  
 日本女子体育大学附属二階堂高等学校  
 東京都立南多摩高等学校附属生徒部  
 ディベア・甲子園OB O G 会  
 阿佐ヶ谷美術専門学校  
 佼成学園数学研究部  
 広域物性最善手会  
 (株)キーバンド  
 カテナ(株)\*\*  
 話し方普及協会  
 心の森\*\*

日本電子(株)KF委員会  
 大東建託(株)  
 栗日本堂(株)  
 合同団いぐらし  
 東京国際キリスト教会  
 青山教会  
 高橋聖音楽会ヨシユア会  
 (有)クラッシュポード高山グループ  
 日本キリスト教協議会  
 パラサイヨ  
 オリパスメディカルシステムズ(株)  
 文学教育研究者集団  
 個人利用  
 大阪市立大学教授 大仁田義裕  
 日帰り利用  
 帝京科学大学教授 別府敬夫  
 下木の会  
 8月(91グループ、延5,217人)  
 中央大学教授 牛嶋 仁  
 アイセック青山学院大学  
 中央大学会計学研究会  
 恵泉女学園大学サマーキャンプ  
 東京学芸大学社会教育ゼミ  
 早稲田大学教授 小林敦子  
 早稲田大学劇団コンソルト  
 東京大学法と社会と人権ゼミ  
 東京理科大学大澤ゼミ  
 東京大学武市教授  
 早稲田大学教授 野木村忠邦  
 中央大学猪口孝ゼミ  
 中央大学高橋宏幸ゼミ  
 桜葉林大学講師 佐藤 恵  
 武蔵工業大学助教授 宇谷明秀  
 電気通信大学助教授 寺田 実  
 東京学芸大学助教授 及川英二郎  
 東京工業大学コールドライネス  
 日本大学教授 伊藤孝一  
 千葉大学炭焼きの会  
 女子美術大学付属高等学校・中学校  
 明星大学文化教育研究部  
 早稲田大学助教授 細部博史  
 立教大学特別講義自主講座  
 青山学院大学ローターアクトクラブ  
 東京工業高等専門学校開信地区留学生交流会  
 東京大学スポーツ新聞編集部  
 中央大学通信教育部  
 明星大学通信教育部  
 法政大学教授 八名和夫  
 芝浦工業大学電子計算機研究会  
 青山学院大学教授\* 今井重孝  
 帝京大学教授 橋田 温  
 埼玉大学教授 福岡安則  
 千葉商科大学体育会本部  
 日本女子大学助教授 坂田 仰  
 東京学芸大学教授 金谷 憲  
 東京工科大学吹奏楽団  
 国際基督教大学ディベティングソサエティ  
 日本ピアカウンセリング・ピアエデュケーション研究会  
 ヨン研究会  
 国立音楽大学ヤングブラハ合唱団  
 聖学院大学キリスト教センター  
 和光大学教授 林真一郎  
 数論セミナー  
 杏林大学英語研修  
 明海大学教授 投野由紀夫  
 女子美術短期大学学生支援センター  
 あしなが育英会  
 21世紀COEプログラム「エネルギー関連」  
 同国際シンポジウム」実行委員会  
 M  
 ファンタジスタ  
 民科行政法部会  
 全日本イベント連盟  
 関東学園大学附属高等学校  
 現代と経済  
 一橋大学教授\* 神武庸一郎  
 明神フェニックスFC  
 多摩学生カウンセリング研究会  
 神奈川大学教授 水野晴光  
 東京神学大学公開夜間神学講座  
 夏ノ学校  
 桃山学院大学  
 常盤大学教授 高塚雄介  
 津田塾大学ディベート  
 秀明大学助教授 山口桂子  
 文学教育研究者集団  
 幼稚園委員会  
 コニカミナルタテクノロジセンター(株)  
 AITC  
 NPO前夜  
 大久保集會  
 調布「憲法ひろば」  
 心の森  
 日中友好雄鷹会  
 小平市教育委員会  
 文藝春秋  
 (社)国際商事法研究所  
 ツリマスタートライミングアカデミー  
 授業研究会の会  
 中医薬ネットワーク  
 八王子市教育委員会  
 福生市教育委員会  
 日本電子(株)  
 横河フィールドエンジニアリングサービス(株)  
 町田クリスタルセンター  
 Dancing Woodpecker  
 カウンセリング研究会  
 (株)キーバンド  
 個人利用  
 江東区立深川第七中学校 南出新治

日帰り利用  
 八尾お茶会  
 「四季の植物誌 親子で学ぶ自然観察」  
 帝京科学大学教授 別府敬夫  
 9月(105グループ、延3,456人)  
 法政大学多摩サークル連合  
 法政大学2ゼミ合同連合  
 立教大学教授 成田康昭  
 東京農薬大学助教授 久保武  
 東京大学分子細胞生物学研究所  
 国際基督教大学社会学卒論ゼミ合宿  
 早稲田大学絵画会  
 東京工芸大学茶道部  
 大妻女子大学助教授 佐藤洋一  
 早稲田大学先端科学健康医療融合研究機構  
 千葉大学教授 高木 元  
 大妻女子大学合唱団  
 立教大学文学部文芸思想専修  
 成蹊大学講師 小林 盾  
 日本大学雄弁会  
 駒澤大学助教授 渡邊恵一  
 恵泉女学園大学教授 若佐玲子  
 立教大学教授 佐々木一也  
 東京農工大学助教授 藤吉方洋  
 東京都立大学教授 江原由美子  
 立教大学教授 眞口雅博  
 明治大学教授 澤田誠二  
 芝浦工業大学工学部建築工学科  
 千葉商科大学助教授 朽木 量  
 青山学院大学教授 木村松雄  
 立教大学教授 芳賀 賢  
 法政大学磯野グループ  
 駒澤大学助教授 各務洋子  
 学習院大学演劇部 寺田 実  
 明星大学助教授 吉川かおり  
 慶應義塾大学キックグループ  
 立教大学教授 富安敏二  
 中央大学教授 田中素香  
 早稲田大学建築展  
 千葉大学教授 白村勝洋  
 青山学院大学助教授\* 中井邦彦  
 東京国立大学教授 乾 彰夫  
 中央大学教授 牛嶋仁  
 明治大学建築科学科技術英語ワークショップ  
 立教大学教授 中村陽一  
 大妻女子大学助教授 鄭 恵  
 恵泉女学園大学教授 内海愛子  
 埼玉大学講師 江口幸治  
 埼玉大学哲学学科  
 中央大学露木ゼミ  
 日本大学教授 黒川祐次  
 上智大学教授 藤村正之  
 千葉大学陸上部  
 法政大学教授 増田正人  
 東京女子大学ドイ  
 東京女子大学教授 黒川修司  
 東京女子大学教授 中村真由  
 東洋大学公法學研究科  
 埼玉大学教授 相澤幸悦  
 中央大学教授 田中拓男  
 山名善之  
 東京理科大学助教授  
 明治大学関本グループ  
 早稲田大学芸術学校  
 横濱国立大学助教授  
 早稲田大学教授  
 日本大学教授  
 東洋大学教授  
 東京外国語大学教授  
 東洋大学軽音楽部  
 首都大学東京建築学科  
 千葉大学教授 嶋津 格  
 首都大学東京「寮」  
 東京外国語大学ドイ  
 語科  
 横濱国立大学佐土原・吉田研究室  
 東京外国語大学鈴木玲子・菊池陽子ゼミ  
 青年法律家協会  
 第45回大学教員セミナー  
 高千穂大学助教授 大島久幸  
 高津看護専門学校  
 早稲田大学助教授 辛島光彦  
 立正大学講師 板橋勇仁  
 日本トルコ学生会議  
 就活がんばろう会  
 共立女子大学教授 生井英考  
 駿河台大学助教授 渡辺裕子  
 山形第一中学校女子バスケットボール部  
 上智短期大学講師 關野敬樹  
 南八王子サッカークラブジュニアユース  
 明海大学教授 小池生夫  
 PE研究会  
 SAT  
 江戸川大学教授 境真理子  
 日本生物工学会東日本支部  
 東京海洋大学生生活協同組合  
 原市衝突若手の会  
 一橋大学教授 倉田良樹  
 帝京科学大学助教授 木村龍平  
 東京多摩のいのちの電話  
 学科製図.com  
 日本サンプス(株)  
 おやじ日本  
 日本キリスト教団林間つきみ野教会  
 調布キリスト教会  
 キリストの教会伝道学院  
 (株)オザム\*\*  
 (株)スリーポンド  
 経産合唱団  
 横浜自治体労働運動研究所  
 (社)母子保健推進会議

## 別表 2005年度収支決算書 総括表

(2005年4月1日～2006年3月31日)

科目	合計	一般会計	特別会計
<b>収入の部</b>			
基本財産利息収入	1,425	1,425	
会費収入	57,850,000	57,850,000	
事業収入	164,995,977	164,995,977	
セミナー会費収入	5,728,332	5,728,332	
補助金等収入	10,500,000	10,500,000	
寄付金収入	9,146,968	1,784,940	7,362,028
雑収入	9,044,276	9,044,196	80
特別会計繰入金収入	10,574,348	10,574,348	
借入金収入	234,755,000	234,755,000	
当期収入合計	502,596,326	495,234,218	7,362,108
前期繰越収支差額	36,297,532	33,079,292	3,218,240
収入合計	538,893,858	528,313,510	10,580,348
<b>支出の部</b>			
<b>管理費</b>			
人件費	31,422,065	31,422,065	
施設管理費	26,264,475	26,264,475	
一般管理費	8,992,457	8,992,457	
<b>一般事業費</b>			
人件費	31,918,193	31,918,193	
一般事業費	72,282,343	72,276,343	6,000
学生セミナー事業費	504,044	504,044	
教職員セミナー事業費	3,076,126	3,076,126	
その他セミナー事業費	1,476,678	1,476,678	
<b>食堂事業費</b>			
食堂事業直接費	22,172,434	22,172,434	
人件費	25,825,548	25,825,548	
食堂事業間接費	5,907,022	5,907,022	
固定資産取得支出	247,725,890	247,725,890	
借入金返済支出	1,935,969	1,935,969	
特定預金支出	5,000,000	5,000,000	
一般会計繰入金支出	10,574,348		10,574,348
予備費			
当期支出合計	495,077,592	484,497,244	10,580,348
当期収支差額	7,518,734	10,736,974	-3,218,240
次期繰越収支差額	43,816,266	43,816,266	0

## サイトレポート

### 「自立と体験」野外実習から

明星大学では、理工学部環境システム学科の1年生必修科目として、5月に1泊2日の野外実習をセミナーハウスで行いました。この科目は、社会人となるための自立に向けて様々な体験を通じて、自己の可能性を発見することを目的とした科目です。

今回の実習では、竹をテーマに選んでみました。多摩の丘陵地帯では竹林を多く見かけますが、その竹林が森林を侵食し他の木々を枯渇させている現場を観察しました。急斜面に生える竹を伐採し、それを利用して、ナタやノコギリ、ナイフなどの刃物を使い、慣れない手つきで、箸・皿などの食器を作ってみました。形は不恰好ながらも創った者にとっては、自慢の作品が出来上がりました。そしてドラム缶窯で竹炭を作ります。台所でガスに点火する普通の生活とは勝手が違い、火を起こすこと、その火を一定時間保つためには、薪のくべ方や風の送り方など色々な要素が必要なることをむせそうになる煙の洗礼を受けながら体験しました。そして最後は、切り出した竹筒に米と水を入れて竹釜を作り、竹炭でご飯を炊く炊飯の作業です。真剣な面持ちで火加減を考え、グツグツと炊けてくる竹釜の様子を覗くことしばし、青竹の芳しい香りとともにふっくらとしたご飯が出来上がりました。梅干と漬物といった質素なおかずでしたが、デリシャス！と叫びたいような満足した顔がそこにあったことは言うまでもありません。私たちの普段にげない単調な生活とは違ったこの体験は、新入生にとって新しい仲間や先生との距離を一挙に近づけることの出来た機会にもなりました。

(文責 轟 仰史)



## 2006年度開催セミナー

セミナー名・日程	テーマ	講師	参加者数
自然セミナー (春の会)4月9日 (夏の会)8月6日	四季の植物誌 ～親子で学ぶ自然観察～ 見つけようよ、春の花!! 探検しようよ、夏の森!!	福田一郎(東京女子大学名誉教授)	30名
			130名
第15大学職員セミナー 7月7日～8日	輝く大学を創る 新しい職員の役割分担を考える	舘永 保(文部科学省大臣官房審議官) 奥島孝康(早稲田大学教授・元総長)	66名
第45回大学教員セミナー 9月2日～3日	キャリア教育と大学	上西充子(法政大学助教授)、川嶋太津夫(神戸大学教授) 大江淳良(ユニバーシティアクティブ代表取締役) 近藤安雄(北海道教育大学キャリアセンター)	83名
第33回国際学生セミナー 9月30日～10月1日	東アジアの将来秩序 東アジア共同体構想を巡って	田中明彦・山影 進・高原明生(東京大学教授)、 五味俊樹(大東文化大学教授)、深川由起子(早稲田大学教授)	70名
第16回大学職員セミナー 10月27日～28日	激動の時代に輝く大学を創る 大学職員が担うべきこと	黒木登志夫(岐阜大学長) 清水 潔(文部科学省高等教育局長)	58名
第3回公開セミナー 11月11日～12日	筑紫時代 日本古代史の新区分 「奈良時代以前」をめぐる	古田武彦(歴史学者、昭和薬科大学元教授)	64名

## 第45回大学教員セミナー

2006年9月2日～3日  
「キャリア教育と大学」を終えて

企画委員・田中敬文

第45回大学教員セミナー「キャリア教育と大学」は、残暑の中、9月2日～3日に80余名の参加者を集めて開かれた。昼の講演は専門家四氏による。上西充子(法政大学)氏はキャリアデザイン学部とキャリアセンターの実践例から、学生が早くに目標を定めるよりもまず社会を知り、自分を知ること、また、1年生にとって先輩が身近なモデルとなることを述べた。大江淳良(ユニバーシティアクティブ)氏は講義「仕事と人生」の経験から、自分のキャリアは自分で考え自分で決定すること、単なる就職支援でないキャリア開発支援が大学に求められることを述べた。また、近藤安雄(北海道教育大学)氏は、村山学長の改革の下、キャリアオーガナイザーとして学生の自立を促すキャリア指導により、社会が期待する学生を育成することが大学を活性化させることを、川嶋太津夫(神戸大学)氏は、知識基盤社会において生涯に亘り就業できるように、問題解決力やコミュニケーション能力等のジェネリック・スキルを獲得すべきことを述べた。四氏に共通していたのは、大学生活の充実こそが満足のいくキャリアにつながるということであった。

講師を交えた夜の分科会では、キャリア教育のための講義を単位化することには異論もあったが、教養・専門にかかわらず個々の講義がキャリア教育の一環であることには理解が得られたと思う。2日目の全体会では、分科会の報告に対する質問・意見が相次ぎ、予定の時間が不足するほどであった。

議論を聞いて1つ気になったことがある。「ワーキング・プア」が問題となる中、やはり学生の関心は差し迫った就職にある。ジェネリック・スキルのある学生は、ない学生よりも就職で有利になるかもしれない。しかし、スキルのある学生で溢れたとき、就職戦線で何が起るのであろうか? その意味で、キャリア教育を始めるならば今のうちではないかと感じた。

今後、各大学で学生の状況に応じたさまざまなキャリア教育が行われるであろう。実践例を紹介し、批判しあう場として、当セミナーの役割も高まるものと考えられる。

(東京学芸大学助教授)

## 第16回大学職員セミナー

2006年10月27日～28日  
激動の時代に輝く大学を創る

- 大学職員が担うべきこと -

企画委員・高橋真義

今回のセミナーは、激動の時代に輝く大学を創るために大学職員が担うべきことは何かを考えました。

大学全入時代にあって、大学のミッションである教育・研究・社会貢献を個性というカタチにするための

努力は、もはや一部の限られた人たちによって担われるものではありません。教職員が学生のためにすべき役割に対して一所懸命であることが、輝かしい大学の明日を約束します。いよいよ、激動の時代に立ち向う勇気と深い識見を持って行動する職員が求められるの



です。

私立大学の事例報告は、清泉女子大学学長室長の及川直子さんです。「職員が授業作りに関与」については、奇跡的ともいえる取り組みを大学のシステムと出来るか否かが、今後の課題であると総括されました。国立大学からは山形大学エンロールメント・マネジメント室長の高橋俊一さんが「山形大学におけるSD活動」について報告されました。大学トップ達と大学運営に関わることで、職員のモチベーションは大きく向上するとまとめられました。

お二人の報告の後は、会場を移して、コミュニケーション力を高め豊かな人間関係を創る「自己表現・評価トレーニング」を6チームで行いました。テーマは「輝く大学を創るために、大学職員が担うべきこと」です。ファシリテーターは高橋が努めました。

豪華な夕食の後は、教育、研究、社会貢献のチームに分かれて、全員参加の分科会です。垣根を越えた意見交換は貴重です。熱い想いは恒例のヒューマン・ネットワーク懇親会に引き継がれ、おしゃべりは深夜まで続きました。

翌朝の第二回目の「自己表現・評価トレーニング」は全員が分科会の報告者になりました。最後は各チームのメンバーとチームカラーを紹介し、笑顔と目線を上げて元気元気元気を大学に持ち帰ることを確認しました。

そして、特別講演 です。講師は岐阜大学学長の黒木登志夫先生です。法人化後の国立大学の現状と諸問題をわかりやすくお話しくださいました。学長のリーダーシップが大きく大学を変えうることを強く感じました。

昼食後の特別講演 の講師は、文科省高等教育局長の清水潔氏です。我が国の大学改革を戦前から今日まで鳥瞰してくださいました。大学改革を推進していくものは、危機意識の共有であるという一言は参加者の心に強く響きました。高橋は今回の企画担当者として、頑張っている大学職員を支援する「職員GP」の創設のお願いをし、検討しましょうと回答をいただきました。

27時間はハードでしたが、それは実り多いプログラムとなりました。

(桜美林大学大学教育研究所教授)

## 2006年度開催セミナー（予定）

セミナー名・日程	テーマ	講師
自然セミナー（秋の会） 2006年11月26日 豕	四季の植物誌 ～親子で学ぶ自然観察～ 落ち葉と遊ぼう!!	福田一郎（東京女子大学名誉教授）
第17回大学職員セミナー 2007年1月26日 貍～27日 狸	未定	未定
自然セミナー（冬の会） 2007年2月4日 豕	四季の植物誌 ～親子で学ぶ自然観察～ 春を探そう!!	福田一郎（東京女子大学名誉教授）
第46回大学教員セミナー 2007年3月3日 狸～4日 豕	徹底討論・キャリア教育	未定

詳細が決定次第、ホームページでご案内致します。  
セミナーに関するお問合せ・お申し込み

<http://www.seminarhouse.or.jp>  
TEL:042-676-8532 FAX:042-676-1220  
E-Mail:kikaku-koho@seminarhouse.or.jp

### 寄贈図書

（2006年4月～9月）

つくってあそぼう19・20	
火と炭の絵本	(社)農山漁村文化協会殿
新共同訳聖書（和英）	日本国際ギデオン協会殿
第4世代の品質経営、他4冊	狩野紀昭殿
広島大学高等教育統計データ集	広島大学殿
吉阪隆正とル・コルビュジェ	倉方俊輔殿
文化遺産としてのモダニズム建築	兼松紘一郎殿

### 寄付

（2006年4月～9月）

10,000円	鈴木三男吉殿
25型テレビ、ラジカセ各1台	中村 勲殿
さくら館の花壇及び周辺の草花	渡辺禮子殿
壁掛時計 塚田電気工事(株)東京支社長	梶塚金雄殿
チェス、将棋盤、将棋駒	河野貴志殿

編集者のつぶやき！  
今回の号から紙面をリニューアルし、横書き・左綴じといたしました。これまでは、縦書き・横書きの混合となっていましたので、編集者は大変な苦勞をして編纂をしてきました。編集スタッフとしては、少し肩の荷が降りたとの実感をかみ締めています。

5月8日に開催の「さくら館開館記念の集い」に際し、以下のみなさまからお祝い金等を頂戴いたしました。  
おさひめ幼稚園、(株)オートマチックサービス、(株)トーツー創研、(株)デイペンロイ、(株)秀幸、(株)タコス建築設計事務所、(株)東邦建設工業、(株)米屋、京晴(株)、倉郷環境対策協議会、京王電鉄(株)、公認セント・ベル幼稚園、社会福祉法人ゆずの木、多摩信用金庫、大旺建設(株)、鶴田電気管理事務所、東亜サービス(株)、中富頼隆、日本大学、日本メカケミカル(株)、八王子商工会議所、八南交通(株)、藤ビルメンテナンス(株)、フランスベッドメディカルサービス(株)、丸山友一、三井実業(株)、明星大学、(有)アイワテクニカルサービス、(有)エフシープラン、綿引二郎  
(五十音別、敬称略)

### ♥ 館長室から ♥

### お陰様で・・・

この春に開館した「さくら館」は、お陰様で利用者の皆様に喜んで頂くことが出来、好評のうちに半年が経過した。その一方で、開館以来40年間大学セミナーハウスのシンボルであり続けたユニットハウスの大半が姿を消し、キャンパスが大きく様変わりした。

「様変わり」といえば、永年「セミナーハウスの顔」として利用者の皆様に親しまれた渡辺禮子さんが退職された。「歳歳年年人不同」とはいえ、寂しい限りである。「お陰様で一番苦しい時期を乗り切ることが出来ました」と申し上げて、渡辺さんの永年の貢献に感謝したい。

一方、キャンパスでは今年も椿や桜や金木犀が美しい花を咲かせ、訪れる人々を楽しませてくれた。

「年年歳歳花相似」である。

お陰様で今年度は主催セミナーの盛況が続いている。予定した規模を大幅に超過したものもいくつかあった。これがハウスの前途を象徴してくれることを願う。

古民家を移築した「遠来荘」の老朽化が進み、屋根にはべんべん草のみならず、木まで生えるようになり、雨漏りが酷い。数年前に屋根の応急修理をしたが、最早その程度の修理ではどうにもならない状態になり、対応に苦慮している。様々な可能性を検討しているが、「お陰様で遠来荘の全面修復が出来ました」という記事をこの欄に書くことは夢のまた夢である。